

(6) グループカウンセリング研究会

会長 北代 大 (竹島小)
副会長 中山 雅代 (中村西中)
事務局 倉本 英樹 (中村西中)

1. 研究主題

「人間関係を高める仲間づくりの研究」

2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場	備考
令和4年8月5日 (金)	第1回研修会 内容 安心できる居場所づくりのための 「仲間づくり活動」 講師 友永 しのぶ	中村西中学校 体育館 (会議室)	7名参加
令和4年12月2日 (金)	第2回研修会 内容 SCと考える子供との接し方・話し方 講師 西岡 美緒 (SC)	中村西中学校 体育館 (会議室)	5名参加

3. 本年度の取り組み

【第1回】 安心できる居場所づくりのための「仲間づくり活動」

(1) エンカウンターのコロナ禍で接触が少なくてできる活動実践例 (友永しのぶ先生)

- ・イラスト伝言ゲーム
- ・絵しりとり
- ・ぱちぱちインパルス
- ・パイプライン
- ・新聞ストロータワー
- ・ストップアンドゴー 等

(2) 高知県の現状と仲間づくりの意義 (講話) (友永しのぶ先生)

- ・通常学級に在籍する「支援を必要としている生徒」の把握
※実態把握が一番重要
- ・通常の学級では個別支援より先に「クラスワイドな支援」(予防)を行う。
- ・仲間づくりを効果的に行なうためには活動内容を実態に合っているものを選び、やりっぱなしにせずしっかり事前アンケート事後の振り返り (リンクしているもの) をすることが大事。

【第2回】 SC と考える子どもとの接し方・話し方 (講話) (西岡美緒先生)

(1) 「気になる子」は「関わりを必要としている子」

たくさんの人に気を配らなくてはならない子供は大きなプレッシャーの中で色んなメッセージを出す。その中には屈折したものもある。

聴くことが大事。聴くとは傾聴 (相手を理解すること) である。

「自己一致」「共感的理解」「無条件の肯定的関心」を大切にし、ゆっくりと話を出させてあげ

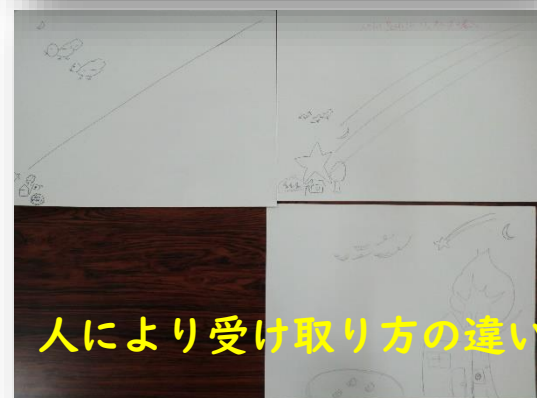
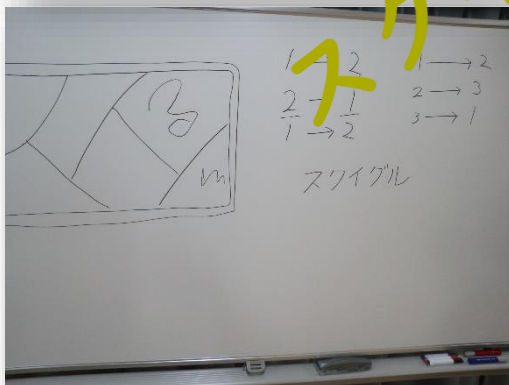
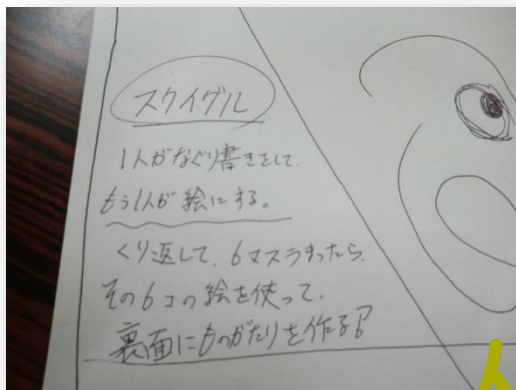
る事が大事。

「摂食障害」では、気持ちを聞き取ることには重きを置くこと。医療機関との連携は難しく、本人は体重を増やしたくない。説得よりも日常のつらさを聞き取ることが大切。

「自傷行為」では、否定してしまうと深みにはまっていくケースが多く、背景やきっかけになったことなどを一緒に考えることが大切。

「死にたい」という相談はSOS、チャンスととらえる。気持ちを否定しないこと。誤魔化さないこと。その背景に目を向け、問題解決の視点を持つ。近い未来の約束をする。

(2) エンカウンター（コロナ禍でも机でできるもの）【スクイグル・見方捉え方の違い】



人により受け取り方の違い

4. 成果と課題

《成果》

- ・1回目のエンカウンターは学校で（部会）共有して行った。仲間づくり朝会で案を出してそのクラスに合ったものを行うことができた。小学1.2年生も楽しくできた。
- ・2日とも色んなことが知れて良かった。また、コロナ禍でもできる活動をたくさん教えて頂き宝物ができた。
- ・エンカウンターを実際に体験することで、どのような学級集団（時期）にどんな内容のエンカウンターをしたらよいか考えることができ、学級づくりに活かされた。
- ・SCが児童との関係づくりで大切にしていることを教えていただき、学級経営や保健室経営も含め、日々子どもや教職員との信頼関係づくりの参考になった。

《課題》

- ・2回目の参加人数が5人だったので、9人全員が参加できる日を決めたいが、なかなか合わなかった。
- ・エンカウンターを行うときに大切な事前アンケート、振り返りアンケートがなかなか取れなかった。